

平成27年度 第3回五島市総合教育会議議事録

- 1 日 時 平成27年7月28日(火) 午後1時30分～1時54分
- 2 場 所 五島市役所3階第2委員会室
- 3 出席者
【構成員】 野口市長、清水教育長、中崎教育委員、~~平松教育委員~~、吉田教育委員、林田教育委員
【事務局】 市長公室長、教育委員会総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、教育委員会総務係長

4 傍聴者 なし

5 内 容

(1) 開会

【野口市長】

皆様、こんにちは。

本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから、第3回五島市総合教育会議を開催させていただきます。

第1回目を4月27日に、第2回目の会議を6月17日に開催し、今日が3回目になりますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(2) 前回会議の概要

【野口市長】

それでは、配布してあります次第に沿って進めさせていただきます。まずはじめに前回会議の概要となっております。6月17日に開催いたしました第2回目の会議の概要につきまして、事務局から説明をお願ひしたいと思ひます。

【事務局】

前回会議(第2回会議)の概要について説明

【野口市長】

ありがとうございます。ただいま事務局より前回会議の概要につきまして説明がありましたが、皆様から何かご質問等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

(3) 協議題 「教育に関する大綱について」

【野口市長】

それでは、さっそく本日の協議に入りたいと思います。前回に引き続き、教育に関する大綱の策定について協議を行いたいと思います。

前回、私の方から大綱として6つの項目をあげさせていただきました。項目については、先程事務局から説明がありましたので、割愛をさせていただきます。また、前回会議の概要でも説明がありましたように教育委員会の皆様からいくつかご意見をいただきました。そのことを踏まえて、再度検討した内容について、本日お示しをし、再度皆様からご意見をいただきたいと思っております。大綱案については、皆様に昨日の夕方にお配りしたということで、あまり確認の時間がとれなかったとは思いますが、今から内容のご説明をしてご意見をいただく、また後日、ゆっくりご覧いただいて、時間をかけてご検討いただければと思っております。それでは、お配りしている大綱案について、ご説明したいと思います。

まず、1点目の「1 生きる力の育成を図り、国際社会で躍動する子どもの育成」については、前回、清水教育長から「確かな学力」というのがあるんだけど、知・徳・体のバランスのとれたという中で、「生きる力」に変えてはどうかとか、平松委員からも「生きる力」という言葉を入れてはどうかという風なお話をいただきまして、標題に「生きる力」を取り込んだ形に変更いたしております。それから、知・徳・体のバランスのとれた教育を推進することが大切であるということ。それから国際化が加速する中で、日本の文化に対する理解を深め、異なる文化を理解できる寛容性を身に着けるといったような人材の育成が必要である。こういうことで、そのためにも子供達を教え導く教職員の資質向上というのが、これまで以上に求められているということを書かせていただいております。特に五島市としては、国際社会で躍動するということで、たくましく豊かな人生を切り開いてほしいという願いを込めまして、小学校からの英語教育を全国に先駆けて開始するというのを、しっかり明記させていただいております。それから、三井楽地区で先行して進めさせていただいていますICT教育環境の整備と推進ということで、財源的には、ふるさと納税を積極的に活用して進めていきたいと思っております。

2点目の「2 地域の特性を学び、学校・ふるさとを誇りに思う子どもの育成」でございますが、標題としては前回お示ししたとおりでございまして、項目として入っていたものを文章という形で記述をさせていただいております。その中で、これからの教育というのは、基礎的な知識・技能を習得するということももちろん大切になってくるわけですが、やはり自ら考えて社会や生活の中でそれらを活用することも大切になってくるということ。そして、「学校とふるさと五島が大好き」という子供を育てるということ。それから世界遺産関連資料の整備と活用に取り組むということ、この世界遺産関連については、五島市のひとつの大きな特色かなと思っております。

3点目の「3 豊かな心をはぐくむ教育の推進」。これについては、子供の豊かな心や命を大切に作る心、人間関係を築く力、主体的に判断し適切に行動する力などを育むということで、道徳教育や人権教育を推進するということ。それからこれは林田委員から意見をいただきましたが、幼児教育や保育といった福祉の立場からの支援とか連携、福祉やコミュニティとの連携、これは中崎委員からもいただきましたが、そういったことも含めまして、いじめや不登校、家庭内暴力など子供に関する問題の改善に向けて学校のみならず家庭や地域社会、幼児教育を含めた福祉分

野など、関係機関が連携した取り組みを推進するということを書かせていただいております。それからこれは吉田委員から地域と子供達との関わり合いをいかに深めていくかということが大事ではないかというご意見をいただきまして、幅広い世代が関わる子供達の体験活動あるいは読書活動の取り組みを推進していくこと。

4点目の「4 ともに学びあう生涯学習の推進と協働する地域社会の形成」ですが、これは前回お示しした4番目と5番目を一本化いたしております。清水教育長からもご意見をいただきまして、両方とも生涯学習関係につながる話なので一緒にしてはどうかということで、全体として5本柱ということでおさめております。そういった中でやはり生涯学習環境の整備ということ、そのために生涯学習の拠点として新図書館建設に向けて準備を進めるということ。少子化や核家族化が進行する中で家庭の教育力低下が懸念されているということ踏まえまして、家庭・学校・地域のつながりを再構築するということ、そのために地域と協働による学校づくりと家庭教育支援を推進するといったところを挙げさせていただいております。

5点目が「安全で安心な教育環境の充実」ということで、耐震化や老朽化対策などの整備を推進するとうこと。それから極小規模化した学校という記述の仕方をさせていただいておりますが、極小規模の学校については、地域の実情を考慮して統廃合を進めるということ。それから特に二次離島を念頭に置いているのですが、へき地教育の振興・充実に努めということを書かせていただいております。それから、教育格差ということが言われるわけですが、これまでも就学支援や奨学金の充実とかを図ってまいりましたが、引き続きいろいろな手立てを講じて教育費の負担軽減に努めていきたいということを書かせていただいております。

前回、教育委員会の皆様からいただきました内容につきまして、全部というわけではないのですが主な項目については議論をさせていただきまして、中に入れさせていただいたということでございます。今日ご意見をいただきましたら参考にして再度検討していきたいと思っております。

五島らしさをもう少し出したいなとも思っているのですが、何かご意見がございましたらお願いいたします。

へき地教育という言葉は今でも使うのでしょうか。ストレートに二次離島におけるという言葉でも良いかとも思うのですが。

【吉田委員】

二次離島という言葉には少し抵抗があります。10年前の合併協議会の中でも、あくまで対等合併ということになっていますので、例えば奈留を二次離島という呼ばれ方をすると少し抵抗があります。

【野口市長】

ここでいう二次離島とは、人口が少ない久賀島とか嵯峨島とかを想定していて、なかなか統廃合が難しい学校についてということになるのですが、どうしても奈留地区についても一部入ってくるかとは考えられますが。言葉の使い方としてへき地という言葉が良いのか。

【吉田委員】

時の流れでそうなることは致し方ないと思いますが、受け止めていかないといけないとは感じ

ています。

【野口市長】

これは、5か年間の計画ということになりますが、新図書館建設は「準備を進めます」という記述ではなくて、今は準備になるかと思いますが、もう少し前向きに「整備します」という記述でも良いかもしれませんね。

【事務局】

はい。

【野口市長】

家庭内暴力とか幼児教育を含めた福祉分野というところではどうでしょうか。

【林田委員】

やはり地域社会の基本となるのは家庭と考えますので、4番目の最後のところに、「地域と協働による学校づくりと家庭教育支援を推進します」とあり、家庭教育を支援するという言葉を入れていただいていますので良いと思います。

【野口市長】

これを受けて、家庭教育学級や子育て出前講座とか具体的な事業を展開していくことになるかと思います。

【中崎委員】

前回会議で意見としては述べさせていただきましたのであまりないのですが、この5項目で良いかと思います。内容の説明については、市長がお話をされる時に思いを述べられても良いのではないかと思います。前回会議でいくつか意見を述べさせていただいたとおりです。

【清水教育長】

特にはないのですが、これで良いかと思います。あとは、小さいところで言葉の整理とかを考えるだけで良いかと思います。例えば、私は、離島に住んでいるということを不利ととらえることがあまり好きではないんですね。1項目の中の文章にある「離島という不利な条件を克服し」というのを「離島という条件を有効に生かし」とかという書き方で、離島も良いところがあるよという気持ちがあるものですから前向きな記述も良いかと思います。

【野口市長】

言葉の言い回しとか整理については、事務局とも一緒に随時直していこうと考えています。

今日の大綱案を持ち帰っていただいて、ゆっくり読み込んでもらって、次回にご意見をいただくということでやりたいと思いますが、次回開催の予定はいつ頃ですか。

【事務局】

定例の教育員会とあわせまして、8月17日頃を予定しています。

【野口市長】

それでは、8月10日頃までに何かあったら意見をいただいて、それから再度検討して次回の会議で決定していく流れでいきたいと思いますが良いでしょうか。あと図書館建設をもう少し前向きに書きましようかね。

【吉田委員】

私も中崎委員さんと同じなのですが、前回の会議で各委員さんが申し上げた意見を踏まえた形で今回大綱案が示されていますので、この大綱案のとおりで良いかと思います。あとは小さな文言の修正とかで良いかと思います。

【野口市長】

ここである程度ご了解をいただいたら、議会の方には、間に合えば9月あるいは12月に文教厚生委員会を含めて報告しようかと考えていますが、決定時期はいつ頃が良いですか。

【事務局】

この大綱については、実際に動き出すのは28年度以降ということになりますので、最終的には3月までなのですけれども、早めに決定すれば事務局としては12月くらいに公表してはどうかと考えています。

【野口市長】

そういうことで進めさせていただきたいと思います。8月10日までに読み込んでいただいて、ご意見等があれば、事務局にご連絡いただければと思います。今日欠席の平松委員にもその旨をお伝えいただければと思います。

それでは以上で会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。